



平成 24 年 5 月 8 日

各 位

会社名 日立電線株式会社
 代表者名 執行役社長 高橋 秀明
 (コード番号 5812 東証・大証 1 部)
 問合せ先 ビジネスサポート本部
 人事総務部門総務部長
 木暮 正一
 (TEL. 03-6381-1050)
 当社の親会社 株式会社日立製作所
 代表者名 執行役社長 中西 宏明
 (コード番号 6501 東証 1 部ほか)

特別損失の計上、通期業績予想と実績との差異、 及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 24 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間に下記の特別損失を計上することを決議いたしました。

また、平成 24 年 2 月 1 日に公表した平成 24 年 3 月期の業績予想と実績との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

なお、平成 24 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当（平成 24 年 3 月期期末配当）予想について、下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社グループでは、中期経営計画「リニューアル・プラン“BRIDGE”」に基づく経営基盤の強化と事業構造改革を進めています。この施策実行に伴い、当第 4 四半期連結会計期間において減損損失及び事業構造改善費用を特別損失に計上しました。それぞれの金額と主な内容は下記のとおりです。

(1) 減損損失 43 億円（連結）

東南アジア地区のグループ会社の再編・集約に伴う製造設備の減損及び化合物半導体事業において事業環境の悪化に伴う製造設備の減損その他を計上するものです。

(2) 事業構造改善費用 11 億 16 百万円（連結）

東南アジア地区のグループ会社の再編・集約に伴う費用その他を計上するものです。

2. 通期業績予想と実績との差異及び期末配当予想の修正について

(1) 通期業績予想と実績との差異の内容(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 24 年 2 月 1 日発表)	422,000	1,500	500	△25,000	△68.59
実績 (B)	432,540	1,966	927	△22,758	△62.35
増減額 (B)－(A)	10,540	466	427	2,242	
増減率 (%)	2.5	31.1	85.4	—	
(ご参考) 前期実績 平成 23 年 3 月期	419,279	788	△1,765	△12,993	△35.65

*金額の単位は、「売上高」「営業利益」「経常利益」「当期純利益」は百万円、「1 株当たり当期純利益」は円で表示しております。

*平成 24 年 3 月期は連結対象会社の決算期統一を実施したため、平成 24 年 3 月期連結業績には、12 月決算子会社 26 社の 15 ヶ月分の業績（平成 23 年 1 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）及び、1 月決算子会社 1 社の 14 ヶ月分の業績（平成 23 年 2 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）を計上しております。

(2) 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		(未定)	(未定)
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (平成23年3月期)	2円50銭	0円00銭	2円50銭

(3) 連結業績予想と実績との差異及び期末配当予想修正の理由

当社の平成24年3月期(平成23年4月～平成24年3月)の業績は、売上高の増加に伴い、営業利益、経常利益とも前回予想を上回りました。また、福利厚生施設の売却による特別利益が発生したことや、特別損失が事業構造改善費用の精査により減少したこと等により、特別損益の純額は前回予想よりも損失額が縮小しました。この結果、当期純損失は前回予想よりも縮小しました。

また、当社グループを取り巻く経営環境及び足下の業績、今後の事業戦略等を総合的に勘案し、期末の配当予想を修正し、0円00銭としました。

以上